

第2 公営企業の業務の状況

1 長野県病院事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成21年度後期における県立5病院の利用人員は、入院14万321人、外来20万9,582人、計34万9,903人で、前年度同期に比較し8,332人の減少となりました。

収益については、入院収益と外来収益を合わせ77億9,814万2,986円で、前年度同期に比較し2億7,283万4,934円の減収となりました。

また、平成21年度後期における介護老人保健施設2施設の利用人員は、入所1万6,667人、通所1,017人、計1万7,684人で、前年度同期に比較して601人の増加となりました。

収益については、入所と通所を合わせ1億7,930万3,141円で、前年度同期に比較し999万7,816円の増収となりました。

病院の施設整備については、駒ヶ根病院整備事業のほか、改修工事などを実施するとともに、各病院の医療機器等の整備充実に努めました。

平成21年度後期の実績は、次表のとおりです。

なお、県立5病院及び介護老人保健施設は、平成22年4月1日に地方独立行政法人に移行しました。

利用状況

(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

病院名	診療科目	病床数	患者数				延べ人員計
			入院		外来		
			延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県立須坂病院	内科、神経内科、小児科、外科、循環器内科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、形成外科、感染症内科、呼吸器外科、呼吸器内科、消化器内科	338	43,303	238	64,112	539	107,415
長野県立駒ヶ根病院	精神科、神経科	235	22,726	125	14,127	119	36,853
長野県立阿南病院	内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、麻酔科、精神科、リハビリテーション科	139	12,365	68	33,944	285	46,309
長野県立木曾病院	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、消化器内科、リハビリテーション科、精神科、循環器内科	259	37,283	205	70,730	594	108,013
長野県立こども病院	小児科、小児外科、循環器科、眼科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、産科、耳鼻いんこう科、神経科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、泌尿器科	200	24,644	135	26,669	224	51,313
計		1,171	140,321	771	209,582	1,761	349,903

(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

介護老人保健施設名	入所定員	利用者数				延べ人員計
		入所		通所		
		延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県阿南介護老人保健施設 アイライフあなん	50	8,221	45	462	4	8,683
長野県木曾介護老人保健施設 アイライフきそ	50	8,446	46	555	5	9,001
計	100	16,667	91	1,017	9	17,684

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

1 医 業 収 益	15,123,173,637	
2 医 業 費 用	<u>23,523,646,454</u>	
営 業 損 益		△ 8,400,472,817
3 医 業 外 収 益	9,156,710,103	
4 医 業 外 費 用	<u>1,091,426,545</u>	8,065,283,558
5 介 護 老 人 保 健 施 設 収 益	588,805,165	
6 介 護 老 人 保 健 施 設 費 用	<u>581,173,586</u>	<u>7,631,579</u>
経 常 損 益		△ 327,557,680
7 特 別 利 益	2,783,601	
8 特 別 損 失	<u>21,107,510</u>	<u>△ 18,323,909</u>
当 年 度 純 損 益		<u>△ 345,881,589</u>
前 年 度 度 繰 越 欠 損 金		<u>△ 11,545,747,916</u>
当 年 度 未 処 理 欠 損 金		<u>△ 11,891,629,505</u>

貸 借 対 照 表

(平成22年3月31日)

(単位：円)

	資 産 の 部	
1 固 定 資 産	46,916,666,707	
2 流 動 資 産	10,033,555,944	
3 繰 延 勘 定	1,191,948,960	
資 産 合 計		<u>58,142,171,611</u>
	負 債 の 部	
4 固 定 負 債	6,125,420,464	
5 流 動 負 債	2,819,732,306	
負 債 合 計		8,945,152,770
	資 本 の 部	
6 資 本 金	27,938,470,961	
7 剰 余 金	33,150,177,385	
8 欠 損 金	11,891,629,505	
資 本 合 計		<u>49,197,018,841</u>
資 本 負 債 合 計		<u>58,142,171,611</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成22年3月31日）

(単位：円)

ア 資 産	58,142,171,611
イ 企 業 債	27,692,363,687
ウ 一 時 借 入 金	0

2 長野県電気事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成21年度後期の電気事業は、既設の美和発電所以下14発電所（最大出力9万9,050キロワット）の運転管理を行い、合計1億8,637万9,821キロワットアワーの電力を供給しました。また、既設発電所の改良工事等を実施しました。

なお、供給電力量及び電力料金収入の状況は、次の表のとおりです。

区分 月別	供給電力量 (A) kwh	目標電力量 (B) kwh	比 率 (A)/(B)×100 %	料金収入 (定額・従量併用制) 円
前期計	224,360,549	233,149,000	96.2	1,562,688,448
10 月	34,310,182	31,554,000	108.7	257,682,928
11 月	31,453,678	23,882,000	131.7	252,876,517
12 月	23,002,417	24,343,000	94.5	242,313,644
1 月	15,366,417	21,459,000	71.6	232,692,285
2 月	21,065,908	22,824,000	92.3	239,558,628
3 月	61,181,219	31,166,000	196.3	270,640,945
後期計	186,379,821	155,228,000	120.1	1,495,764,947
合 計	410,740,370	388,377,000	105.8	3,058,453,395

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益	3,004,840,819	
2	営業費用	<u>2,362,477,023</u>	
	営業利益		642,363,796
3	営業外収益	82,881,719	
4	営業外費用	<u>499,277,958</u>	<u>△ 416,396,239</u>
	経常利益		225,967,557
5	特別利益	13,836,680	
	特別損失	<u>10,295,127</u>	<u>3,541,553</u>
	当年度純利益		229,509,110
	前年度繰越利益剰余金		<u>61,123,000</u>
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>290,632,110</u></u>

貸 借 対 照 表

(平成22年3月31日)

(単位：円)

	資 産 の 部	
1	固定資産	24,606,805,996
2	流動資産	4,526,441,429
3	繰延勘定	<u>82,500</u>
	資産合計	<u><u>29,133,329,925</u></u>
	負 債 の 部	
4	固定負債	698,705,100
5	流動負債	<u>219,203,623</u>
	負債合計	917,908,723
	資 本 の 部	
6	資本金	22,394,249,271
7	剰余金	<u>5,821,171,931</u>
	資本合計	<u>28,215,421,202</u>
	負債資本合計	<u><u>29,133,329,925</u></u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成22年3月31日）

(単位：円)

ア 資 産	29,133,329,925
イ 企 業 債	10,071,690,266
ウ 一 時 借 入 金	0

(4) 平成22年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

美和発電所以下14発電所に係る供給目標電力量を3億8,772万4千キロワットアワーと見込み、これに伴う電力料金等の収益の合計30億3,797万5千円を計上しました。

また、水力発電費等維持管理に要する費用の合計30億2,030万8千円を計上しました。

(イ) 建設関係

電力の安定供給を図るため、既設発電所の改良を計画的に実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

(単位：千円)

	収 入	
第1款 電気事業収益		3,037,975
第1項 営業収益		3,036,423
第2項 営業外収益		1,552
	支 出	
第1款 電気事業費用		3,020,308
第1項 営業費用		2,477,702
第2項 営業外費用		542,606

(資本的収入及び支出)

(単位：千円)

	収 入	
第1款 資本的収入		870
第1項 工事受託金		870
	支 出	
第1款 資本的支出		1,357,513
第1項 建設改良費		215,441
第2項 受託工事費		833
第3項 企業債償還金		1,141,239

イ 経営の方針

美和発電所以下14発電所の運転管理については、諸設備の整備点検に万全を期すとともに、効率的な発電計画により収入の増加を図り、安定した経営に努めます。

3 長野県水道事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成21年度後期の水道事業の概要は、次のとおりです。

ア 末端給水事業は、前期に引き続き長野市ほか2市1町の給水区域に、914万4,878立方メートルを給水するとともに、安定給水の確保を図るため施設の改良工事及び老朽管更新対策事業等を実施しました。

区分 月別	給 水 戸 数	有 収 水 量	水 道 料 金
前 期 計	戸 —	m ³ 9,301,490	円 1,669,296,732
10 月	70,887	1,670,223	299,100,837
11 月	70,817	1,490,088	267,429,783
12 月	70,766	1,577,135	283,753,712
1 月	70,664	1,467,084	263,513,984
2 月	70,628	1,579,352	284,680,338
3 月	70,799	1,360,996	249,063,009
後 期 計	—	9,144,878	1,647,541,663
合 計	—	18,446,368	3,316,838,395

イ 水道用水供給事業は、前期に引き続き松本市、塩尻市及び山形村に1,471万9,909立方メートルの水道用水を供給するとともに安定供給を図るため送水施設の改良工事等を実施しました。

区分 月別	供給量	用水料金
前期計	14,780,096 m ³	729,066,438 円
10月	2,510,588	123,842,520
11月	2,429,676	119,847,600
12月	2,500,386	123,334,030
1月	2,510,682	123,842,520
2月	2,257,901	111,374,275
3月	2,510,676	123,842,520
後期計	14,719,909	726,083,465
合計	29,500,005	1,455,149,903

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益	4,673,537,485	
2 営業費用	<u>3,370,785,302</u>	
営業利益		1,302,752,183
3 営業外収益	120,430,691	
4 営業外費用	<u>694,657,527</u>	<u>△ 574,226,836</u>
経常利益		<u>728,525,347</u>
当年度純利益		<u>728,525,347</u>
当年度未処分利益剰余金		<u><u>728,525,347</u></u>

貸借対照表

(平成22年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部		
1 固定資産	60,525,914,441	
2 流動資産	3,296,605,333	
3 繰延勘定	<u>255,501</u>	
資産合計		<u><u>63,822,775,275</u></u>
負 債 の 部		
4 固定負債	994,181,702	
5 流動負債	<u>371,325,566</u>	
負債合計		1,365,507,268
資 本 の 部		
6 資本金	39,073,788,087	
7 剰余金	<u>23,383,479,920</u>	
資本合計		<u><u>62,457,268,007</u></u>
負債資本合計		<u><u>63,822,775,275</u></u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高 (平成22年3月31日)

(単位：円)

ア 資 産	63,822,775,275
イ 企 業 債	26,579,131,076
ウ 一 時 借 入 金	0

(4) 平成22年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

末端給水事業については、長野市ほか2市1町の7万1,115戸に年間給水量1,845万立方メートルを、水道用水供給事業については、松本市、塩尻市及び山形村に年間供給量2,953万8千立方メートルを予定し、水道料金等の収益の合計49億3,779万9千円を計上しました。

また、浄水費等維持管理に要する費用の合計43億8,349万2千円を計上しました。

(イ) 建設関係

末端給水事業については、安定給水と安全性確保のため、送・配水施設等の整備を進めるとともに、地震・事故にも強い施設とするため、老朽管更新対策事業を計画的に実施します。

水道用水供給事業については、安定供給と安全性確保のため、浄水施設整備等を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

		(単位：千円)
	収 入	4,937,799
第1款 水道事業収益		4,916,916
第1項 営業収益		20,883
第2項 営業外収益		
	支 出	4,383,492
第1款 水道事業費用		3,594,494
第1項 営業費用		788,998
第2項 営業外費用		

(資本的収入及び支出)

		(単位：千円)
	収 入	1,912,532
第1款 資本的収入		1,365,000
第1項 企業債		33,330
第2項 補助金		514,202
第3項 負担金		
	支 出	4,153,780
第1款 資本的支出		2,378,018
第1項 建設改良費		26,250
第2項 開発費		1,749,512
第3項 企業債償還金		

イ 経営の方針

末端給水事業については、安定給水を図るため効率的な管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努めるとともに、健全経営に努めます。

水道用水供給事業についても、安定供給を図るため効率的な管理運営に努めます。

また、末端給水事業及び水道用水供給事業ともに危機管理体制の強化に努めます。